

# モニタリング結果報告書 (令和3年度)

## 1. 施設概要

施設名	神奈川県立伊勢原射撃場		
所在地	伊勢原市上粕屋2380番地		
サイトURL	https://www.isehara-shooting.jp/		
根拠条例	神奈川県立伊勢原射撃場条例		
設置目的(設置時期)	県民に射撃に関する知識の習得及び技術の向上の場を提供し、もって県民のスポーツの振興に寄与するため(平成9年5月)		
指定管理者名	一般社団法人神奈川県射撃協会		
指定期間	H30.4.1~R5.3.31 (2018年) (2023年)	施設所管課 (事務所)	スポーツ課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p>射撃教習及び技能講習の実施などを通じて、概ね事業計画書の内容どおりの取組を実施している。利用状況の評価がS評価、利用者の満足度の評価がS評価、収支状況の評価がC評価となったことから、令和3年度の3項目評価についてはB評価とした。</p> <p>収支状況の評価がC評価となった理由は、利用者増に伴う標的等仕入費及び清掃費の増、施設や設備の老朽化に伴う修繕費の増により、支出が増大したためである。今後は、事業計画に掲げた取組を継続するとともに、クレー射撃の選手育成拠点として、その強みを最大限に活かした事業展開を図ることにより、引き続き、利用者の安全管理の徹底と将来の射撃競技人口の裾野の拡大に資するような施設の管理運営を通じて、更なる利用拡大とサービスの向上に努めてもらいたい。</p>
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 射撃教室の開催、射撃教習並びに技能講習の実施を通じて、概ね事業計画の内容どおりの取組を実施した。中でも施設の安全管理については、利用者に対する適切な指導やサポートを徹底することにより、利用者が安全、安心かつ快適に利用できる環境整備に注力するなど、事故防止に向けた施設運営に取り組んでいる。</p> <p>◆利用状況 施設のサービス向上や射撃教室によるスキルアップ、ビームライフル体験会の実施等により再来場が増え、利用者数が目標達成率112.5%となり、S評価となった。前年度対比では利用者数が110.5%のプラスとなっている。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者の意見を業務に反映した結果、10月と3月に実施したアンケート調査では上位2段階の回答割合が97%となり、S評価となった。アンケートの実施にあたっては、利用者幅広く回答してもらえるよう呼びかけを行うなど指定管理者は様々な工夫をしているが、回収率が75.3%とそれほど高くないため、日頃から利用者とのコミュニケーションを積極的に図るよう指導した。</p> <p>◆収支状況 収入は前年度対比で100.8%となり横ばいであったが、前年度の指定管理料を除けば、利用者増に伴い利用料金収入及びその他収入は増であり、前年度対比で109.1%となった。しかし、支出において、利用者増に伴う標的等仕入費及び清掃費の増、施設や設備の老朽化に伴う修繕費の増があったため、前年度対比で131.3%となった。収支差額はマイナスとなり、収支比率が73.98%となったため、C評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 寄せられた苦情・要望等について、適切な対応に努めた。</p> <p>◆事故・不祥事等 1件の事故が発生したため、再発防止の取組を行った。引き続き、職員による安全な施設運営に努める。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なし</p>

## 3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
B	S	S	C	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要

#### 4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	随時現場確認を実施 (3か月に1回程度)	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	随時意見交換を実施 (3か月に1回程度)	県と指定管理者との間で意見交換を実施し、コロナ禍における施設の管理運営上の課題等を情報共有した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

#### 5. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
東京2020大会に向けた管理運営	施設の整備を行うとともに、射撃競技会や強化練習等を実施した。また、ビームライフル体験会を開催し、若年層の発掘や女性シューターの増大に取り組んだ。	
新たな射撃競技者の開拓、射撃競技者の育成、射撃競技に対する一般県民への普及啓発活動	高校生のビームライフル大会等による若年層の競技人口拡大、射撃教室の開催による育成に取り組んだ。また、ホームページを活用した広報活動等を実施した。	
施設の維持管理	維持管理計画を策定し計画的な修繕を行った。また、銃砲を保管するための防犯対策として、盗難防止対策や機械警備を実施した。	
事故防止等の安全性の確保	射撃指導員による巡回、競技ルールの指導を実施した。また、競技会の主催者等に対し、銃の安全操作、保管等の指導を実施した。	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
射撃の知識習得及び安全に対する意識の啓蒙のため射撃教室を実施。	計13回・99人参加

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

## 6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
S	

	前々年度	前年度	令和3年度
利用者数※	24,362	20,366	22,509
対前年度比		83.6%	110.5%
目標値	20,000	20,000	20,000
目標達成率	121.8%	101.8%	112.5%

目標値の設定根拠： 指定管理者収支計画書に基づき設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用料金から算出

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 \_\_\_\_\_

<備考>

**【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】**  
 （※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

—

②令和3年度の対応状況

—



8. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
C	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳			収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	0	59,197	35,840	クレーション、 標的等(ライフル)、 技能講習・射撃教習	95,037	95,037	0	
	決算	0	70,929	43,292	クレーション、 標的等(ライフル)、 技能講習・射撃教習	114,221	124,688	-10,467	91.61%
前年度	当初予算	0	59,197	35,840	クレーション、 標的等(ライフル)、 技能講習・射撃教習	95,037	95,037	0	
	決算	8,834	64,769	42,467	クレーション、 標的等(ライフル)、 技能講習・射撃教習	116,070	120,410	-4,340	96.40%
令和3年度	当初予算	0	59,197	35,840	クレーション、 標的等(ライフル)、 技能講習・射撃教習	95,037	95,037	0	
	決算	0	70,186	46,810	クレーション、 標的等(ライフル)、 技能講習・射撃教習	116,996	158,152	-41,156	73.98%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和3年度 / 3,557 前年度 / 3,557 前々年度 / 3,872

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

—

②令和3年度の対応状況

—

9. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応	苦情	2 件	職員の接客態度の是正について	指定管理者に聞き取りを行った上で、必要な対応を求めた。
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
7月23日	①クレー射撃場において、クレーピジョンをクレー放出機に補充する際に、作動中のクレー放出機の一部が指定管理者職員1名の右腕に当たり負傷 ②発生直後に県職員が電話で確認。伊勢原警察署による検証を実施 ③負傷した指定管理者職員は医療機関を受診。再発防止策として指定管理者全職員に対し事故防止の再教育を実施 ④無 ⑤職員の不注意 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。